



内閣府

内閣府一般職採用担当窓口 大臣官房人事課任用係

〒100-8914 千代田区永田町1-6-1 TEL:03-5253-2111 (内線31343)

<https://www.cao.go.jp/>



●内閣府本府庁舎／中央合同庁舎第8号館

〒100-8914 千代田区永田町1-6-1

<内閣府本府庁舎>

- 大臣官房 (会計課、政府広報室、厚生管理官)
- 政策統括官 (原子力防災担当)
- 知的財産戦略推進事務局
- 賞勲局

<中央合同庁舎第8号館>

- 大臣官房
(総務課、人事課、企画調整課、政策評価広報課、公文書管理課)
- 政策統括官 (経済財政運営担当)
- 政策統括官 (経済社会システム担当)
- 政策統括官 (経済財政分析担当)
- 政策統括官 (防災担当)
- 政策統括官 (沖縄政策担当)
- 政策統括官 (共生・共助担当)
- 男女共同参画局
- 沖縄振興局
- 経済社会総合研究所
- 科学技術・イノベーション推進事務局
- 北方対策本部

●中央合同庁舎第4号館

〒100-8970 千代田区霞が関3-1-1

- 消費者委員会事務局
- 国際平和協力本部事務局

●永田町合同庁舎

〒100-0014 千代田区永田町1-11-39

- 地方創生推進事務局
- 健康・医療戦略推進事務局

●迎賓館

〒107-0051 港区元赤坂2-1-1

●宇宙開発戦略推進事務局

●総合海洋政策推進事務局

〒100-0013 千代田区霞が関3-7-1

●日本学術会議

〒106-8555 港区六本木7-22-34

●沖縄総合事務局

〒900-0006 那覇市おもろまち2-1-1
那覇第2地方合同庁舎2号館



2026 内閣府

Cabinet Office, Government of Japan

一般職採用案内





内閣府の役割 (ミッション)

- **国政上の重要課題への解決を主導する「知恵の場」**
内閣総理大臣がリーダーシップを発揮できるよう政策選択に資する英知を結集する「知恵の場」として、国政上の重要課題への解決を主導します。
- **国政全体を俯瞰した立場からの企画立案・総合調整**
内閣の重要政策に関して、行政事務を分担管理する各省より一段高い俯瞰した立場から企画立案・総合調整を強力かつ迅速に行います。
- **内閣総理大臣が直接担うにふさわしい業務を担当**
高度な専門知識・スキルを活用し、課題解決に取り組むとともに、国民への積極的な周知、理解促進を進めます。

組織として目指す姿 (ビジョン)

- **国全体の在り方を考えた行政の実現を目指す組織**
国民の立場に立ち、国全体の在り方 (全体最適) について将来展望を持って最適解を導きます。内閣府の役割と職員のやりがい相乗効果をもって拡大していくことを目指します。
- **多様化・複雑化する課題に対しアジャイルに対応する「学習する組織」**
多様化・複雑化する社会課題やニーズへ応え続けるために、組織と個人の能力を高め続けるとともに、官民・組織内外の様々な知見を課題解決に向け、柔軟かつ迅速に連携・共創していく組織を目指します。
- **組織と職員、職員間の信頼関係が高く、ワークライフバランス実現のための環境を備えた組織**
職員個々の多様性を尊重し、創意工夫を持って自律的に職務に取り組める組織文化とワークライフバランス実現のための環境を備えた職員エンゲージメントの高い組織を目指します。

内閣府職員の行動指針

- 国民目線から、国民の幸せや豊かさを追求します。
- チャレンジ精神と柔軟性を持って新しい課題に取り組みます。
- 国民の信頼や期待に応えるため、コミュニケーションを重視します。
- 自覚と誇りを持って専門性を高め、組織の持つ多様性を最大限にいかします。
- 社会の一員としての役割を大切にし、職場外での経験を業務にいかします。

一般職採用案内 CONTENTS

内閣府の組織概要及び事務体制 …………… 3

写真や図で見る内閣府の業務 …………… 5

部局紹介

① 大臣官房総務課 原 千奈 ……………	9
② 大臣官房公文書管理課 冬木 紘太 ……………	9
③ 大臣官房政府広報室 小河原 啓介 ……………	10
④ 政策統括官 (共生・共助担当) 今野 真実 ……………	10
⑤ 男女共同参画局 木田 衣里乃 ……………	11
⑥ 政策統括官 (経済社会システム担当) 岡 舜也 ……………	11
⑦ 政策統括官 (経済財政分析担当) 北島 大地 ……………	12
⑧ 経済社会総合研究所 永橋 彩子 ……………	12
⑨ 政策統括官 (沖縄政策担当) 甫喜山 文也 ……………	13
⑩ 北方対策本部 道廣 真友 ……………	13
⑪ 迎賓館 星 まなみ ……………	14
⑫ 賞勲局 大竹 祐一 ……………	14

出向者からのメッセージ

① 消費者庁 五十嵐 香里 ……………	15
② こども家庭庁 坂本 奈津季 ……………	15
③ 総務省 宇田川 恵祐 ……………	16
④ 在スリランカ日本国大使館 高岡 瞭 ……………	16

内閣府職員のキャリアパス …………… 17

研修制度・キャリアパス

賞勲局 菅原 知里 ……………	20
大臣官房人事課 荻原 哲矢 ……………	21

内閣府のDX・ワークライフバランス

政策統括官 (共生・共助担当) 渡辺 潤 ……………	24
賞勲局 北條 香穂 ……………	24

職員の1日のスケジュール

政策統括官 (経済財政運営担当) 齊藤 このみ ……………	25
大臣官房会計課 野路 友暉 ……………	26

2025年度入府者からみなさんへ …………… 27

採用関連情報 …………… 29

4

内閣府の主な業務

内閣府は政府の中核かつ多様な業務を担当する組織です。その一例を写真等でご紹介します。

経済財政政策

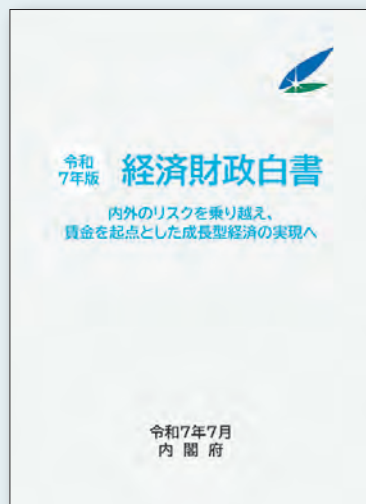
内閣の重要政策である経済財政政策を担当しています。



出典：首相官邸ホームページ
(<https://www.kantei.go.jp/jp/104/actions/202601/22keizai.html>)



出典：首相官邸ホームページ
(<https://www.kantei.go.jp/jp/104/actions/202601/22getsurei.html>)



経済財政白書



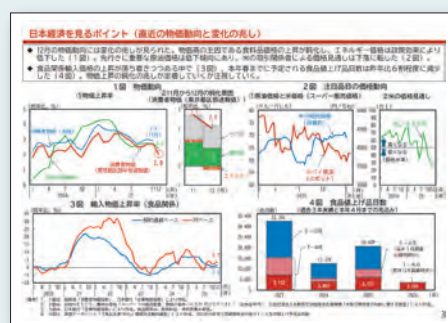
世界経済の潮流



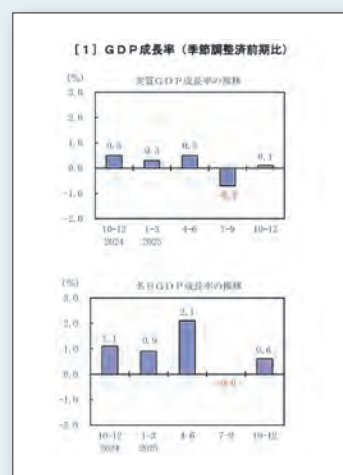
地域課題分析レポート



月例経済報告



月例経済報告等に関する関係閣僚会議資料



2025年10-12月期四半期別GDP速報（1次速報値）

政府広報

政府の重要施策について、その背景、必要性、内容などを広く国民に知っていただき、これらの施策に対する国民の理解と協力を得るため、政府広報を行っています。



SNS広告「マイナ救急」



SNS広告で配信「オンラインカジノは犯罪」



屋外広告等で放映「取適法」



令和7年度 政府広報提供テレビ番組



政府広報室が運営する公式サイト
政府広報オンライン



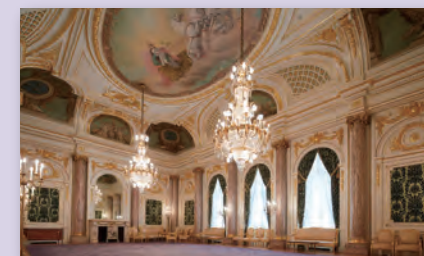
政府広報SNSアカウント
(内閣府政府広報Instagramより)

迎賓館

世界各国から国王、大統領、首相などの賓客をお迎えする国の迎賓施設です。



迎賓館赤坂離宮



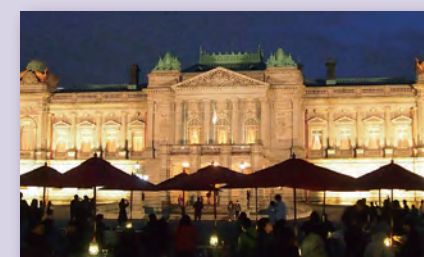
朝日の間



和風別館



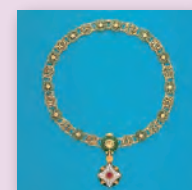
京都迎賓館



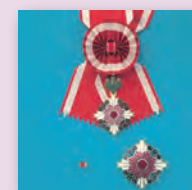
一般公開（夜間公開）

勲章・褒章

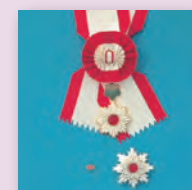
春秋叙勲等における勲章等の授与の審査などの栄典に関する事務を行っています。



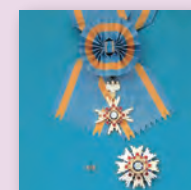
大勲位菊花章



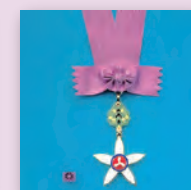
桐花大綬章



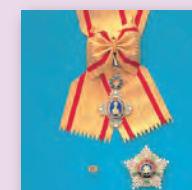
旭日章



瑞宝章



文化勲章



宝冠章

共生・共助

年齢・障害等に関わりなく安全・安心に暮らせ（共生）、互いに支え合う（共助）社会の実現に資するビジョン、目標、施策の方向性を、政府の基本方針（大綱や計画など）として定め、政府一体の取組として強力に推進しています。



青年国際交流事業



高齢社会白書



障害者白書



孤独・孤立対策強化月間



バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰式



令和8年春の
全国交通安全運動



性的指向・ジェンダー
アイデンティティ理解増進



休眠預金等活用制度

男女共同参画

男女共同参画社会の実現に向けて、あらゆる取組を推進しています。



出典：首相官邸ホームページ
(https://www.kantei.go.jp/jp/104/actions/202512/12danjo.html)

男女共同参画会議



女性に対する暴力をなくす運動



男女共同参画白書



女性に対する暴力をなくす運動におけるパープル・ライトアップ



カエル！ ジャパン



理工チャレンジ

北方対策

外交交渉を支える広報・啓発の充実や北方四島との交流事業等、北方領土問題解決に向けた諸施策を推進しています。



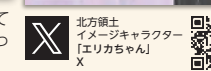
XやFacebookでイベント情報や北方四島に関する情報をみんなに発信してるっぴょ

北方領土イメージキャラクター エリカちゃん



みんなに北方領土について知ってもらいたくて、うまれたんだっぴょ。北方四島が大好きで、四島それぞれにエトピリカのお友達がすんでるっぴょ。全国を飛び回っているから、見つけたら優しく声を掛けてっぴょ。

着ぐるみのエリカちゃんは全国各地で開催されているイベント等に登場し、一緒に啓発活動を行っています。



船舶「えとぴりか」は、北方四島交流等事業のために設計、建造されました。

沖縄政策

国家戦略として、様々な沖縄振興策を実施しています。



那覇空港第二滑走路など沖縄県内の社会基盤整備を推進しています。



令和元年10月の火災により焼失した首里城について、令和4年11月に正殿の本体工事に着工しました。正殿の令和8年秋の復元に向けて政府として責任を持って取り組んでいます。



世界最高水準の教育研究を行う沖縄科学技術大学院大学(OIST(オイスT))を支援しています。



沖縄は多数の離島があり、これら離島の活性化を推進しています。

防災・原子力防災

防災に関する基本的な政策、大規模災害発生時の対応に関する業務、また、地域の原子力防災体制の充実・強化に係る業務を推進しています。



出典：首相官邸ホームページ
(https://www.kantei.go.jp/jp/104/actions/202511/29kunren.html)

原子力総合防災訓練



防災白書

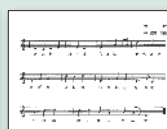


リーフレット
「南海トラフ地震 - その時の備え -」

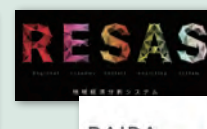
内閣府は多種多様な業務を担っています



国旗及び国歌に関する法律



元号法



地域経済分析システム (RESAS (リーサス))
地方創生データ分析評価プラットフォーム (RAIDA (レイダ))

元日	成人の日	建国記念の日	天皇誕生日
春分の日	昭和の日	憲法記念日	みどりの日
こどもの日	海の日	山の日	敬老の日
秋分の日	スポーツの日	文化の日	勤労感謝の日

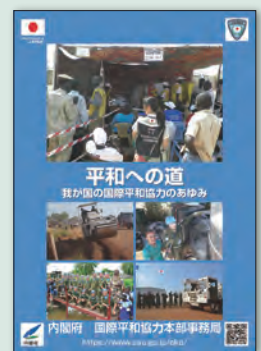
国民の祝日に関する法律



ムーンショット型研究開発制度



企業版ふるさと納税



国際平和協力



大臣官房総務課



大臣官房総務課秘書専門職付
内閣府大臣政務官付

原 千奈

Hara China

Career

令和 3年 採用、
経済社会総合研究所国民経済計算部企画調査課
令和 5年 内閣官房内閣サイバーセキュリティセンター
令和 7年 現職

所属している部局全体の紹介

大臣官房総務課では、主に内閣府の所管事務の総合調整を担っており、具体的な業務としては、部局間の総合調整業務、国会対応業務、政務三役等の秘書業務、文書審査等多岐にわたっております。

あなた自身の仕事の具体的な内容

私は政務官室において、大臣政務官及び大臣政務官秘書官のサポート業務に従事しております。私がお仕える内閣府大臣政務官におかれては、経済財政政策及び規制改革、また、金融担当も所管されていることから、秘書官ご指示のもと、政務官が所管されている内閣府の部局や金融庁政務官室、議員事務所等と連携をとり、政務官に説明する案件の確認や公務日程、国会対応、出張・視察等の調整を行っています。

現職のやりがいや達成感を感じる瞬間

政務官の所管部局及び金融庁や議員事務所等、多くの関係者と関わりながら業務を行っています。どの業務も責任が重く、特に国会対応については、政務官が答弁するまでのプロセスを近くでお支える立場なので、そうそう経験できない業務に携われている点にとてもやりがいを感じます。

◆採用一年目の思い出

初めての社会人、初めての配属先はとても緊張したことを覚えています。雰囲気馴染めるのが不安が大きかったですが、上司がとても優しい方で、お昼休み時間にランチに連れて行ってくださったり、業務も丁寧に教えてくださったので、緊張や不安はすぐ解けました。また、同期も同じ部署に数名いたので、仕事のことを相談できる仲間が近くにいたことはとても心強かったです。最初は分からないことだらけでしたが、上司や同期に助けられ、業務内容も内閣府のこともよく知れて、とても充実しておりました。



◆仕事をする上で心がけていること

政務官をお支える立場なので、ご予約に漏れないよう、直近の予定から先の予定までを見据えて日程調整したり、関係者との情報共有を密に行ったりと、政務官のご予定を全体的に把握することを心がけています。また、所管部局等からの連絡を踏まえ、自分自身でも内容を理解し、不明な点は問い合わせる等した上で秘書官に相談するよう、秘書官の負担を少しでも減らす努力をしております。

公文書管理課



大臣官房公文書管理課
公文書館係

冬木 紘太

Fuyuki Kota

Career

令和 6年 採用、現職

所属している部局全体の紹介

大臣官房公文書管理課では、公文書管理法を所管し、公文書等の管理に関する基本的な政策の企画・立案・推進に関する事務を行っています。一例として、公文書館に関する制度、歴史公文書等の保存及び利用に関する事務、文書管理のデジタル化の取組を担っています。

あなた自身の仕事の具体的な内容

私が所属している公文書館係では、独立行政法人国立公文書館の管理監督に関する業務を行っています。主な業務として、独立行政法人の業務の進捗状況等を、国民が把握できるように定める必要のある目標・事業計画の策定や年度ごとの業務の実績評価を担当しています。また、予算担当として、国立公文書館の運営に関する補助金などの事務に携わっています。

現職のやりがいや達成感を感じる瞬間

公文書管理は、行政の意思決定や政策立案に係る背景などを後世に伝え、現在と将来の国民に対する説明責任を全うするという重要なミッションを担っています。こうした責任の重い業務を担うことには、大きなやりがいを感じています。

◆採用一年目の思い出

1年目の6月に実施した、新たな国立公文書館の開館に向けた式典に携わったことが最も印象に残っています。式典では、特命担当大臣を始め、元総理大臣や衆参議長、最高裁長官等が出席されるということから準備では不安を感じることもありましたが、関係各所との調整を重ねることで順調に進めることができました。後日、式典のことがメディア等で取り上げられているところを見て、改めて自分が大きな仕事に携わったことを実感し、良い思い出となりました。



◆仕事をする上で心がけていること

現在の担当では、同時に複数の業務を抱えることも多いため、その業務の期限や重要度、作業に必要な時間などから優先順位を決め、効率的に取り組むように心がけています。また、関係部局・機関とコミュニケーションを密にとり、情報共有や意見交換などを積極的に行うことで、連携して業務に臨めるよう意識するとともに、上司を始めとした周囲の方々から様々な助言をいただくことで、常に視野を広く持てるよう努めています。

政府広報室



大臣官房政府広報室
ウェブシステム担当主査

小河原 啓介

Ogawara Keisuke



所属している部局全体の紹介

政府広報室では、国の重要施策を国民に伝える「広報」活動と、国の政策に対する声を聴く「広聴」活動を行っています。各省庁においても、所管分野の専門的な広報を行っていますが、政府広報ではそれらを横断し、各府省とも連携しながら、国の施策への理解と協力を得ることを目的としています。

あなた自身の仕事の具体的な内容

私は、インターネット広告の実施や、公式ウェブサイトである政府広報オンライン、政府広報SNSアカウントなどを通じた広報に携わっています。法律や制度の改正内容など、国民生活に影響の大きなテーマであっても、報道でも知られるようなものから、全く取り上げられないようなものまで幅広く存在しています。広報に当たっては、国民生活に直結するテーマを適切な時期に相性の良い媒体に載せ、広く届けられるように、担当省庁と調整を行っています。

現職のやりがいや達成感を感じる瞬間

自身の携わった仕事をプライベートで目にする事が多く、自分が制作に関わった広告を見ている人がいることを思うと、やりがいを感じると同時に、仕事の重要性を改めて実感し、身が引き締まります。

◆内閣府の求める人材

内閣府の業務は非常に幅広く、異動のたびに前部署とは全く異なる仕事を担当することも少なくありません。そのため、まずは新しい部署で自分の役割を正確に把握し、業務を着実に遂行することが求められます。しかし、それだけでは十分ではありません。より質の高い業務を実現し、その部署にいる間に、担当領域について最も詳しい存在となるためには、常に向上心を持ち、知識やスキルを磨き続ける姿勢が必要です。



◆仕事をする上で心がけていること

各省の施策を横断的に取り扱う政府広報は、国民が国の様々な施策を知るきっかけになることが多いと思います。しかし、新しい法律や制度など、難しく取っつきづらいテーマが多い中で、認知や理解、協力を得ていくことは容易ではありません。そのため、過去の成功事例等もファクトとして踏まえつつ、わかりやすい表現となるよう各省調整を行っています。また、他担当の調整状況にも注意を払い、媒体間での連携漏れがないよう心がけています。



主査心得(政策統括官(共生・共助担当)付
参事官(障害者施策担当)付)

今野 真実

Konno Mami

Career

平成 31年 採用、内閣官房内閣人事局
令和 3年 独立行政法人国立公文書館
令和 5年 調整担当主査付(政策統括官(沖縄政策担当)付参事官(総括担当)付)
令和 7年 現職

共生・共助



所属している部局全体の紹介

政策統括官(共生・共助担当)では、年齢や障害等に関わりなく安全・安心に暮らせる「共生社会」、互いに助け合い、支え合う「共助社会」の実現に向けて、ビジョン、目標、施策の方向性を、政府の基本方針(大綱や計画など)として定め、政府一体の取組として強力に推進しています。

あなた自身の仕事の具体的な内容

私が所属している障害者施策担当では、障害者施策に関する基本的な計画や差別の解消の推進に関する基本方針等を策定するなど、関係省庁と連携し様々な施策を推進しています。私は、「障害者白書」の作成をはじめ、障害及び障害のある人に対する国民の関心、理解を深めるための啓発・広報活動を担当しています。

現職のやりがいや達成感を感じる瞬間

私が担当している業務は準備に多くの時間を要し、なかでも障害者白書は、英語版やマルチメディアデージー版(音声にテキスト及び画像をシンクロさせたもの)など多様な形態を作成しているため、年間を通じて作業が続きます。調整が大変な場面もありますが、業務を完了した際には強い達成感を覚えます。

◆内閣府の求める人材

「まずは挑戦してみる」ことが重要だと考えています。内閣府の業務は非常に多岐にわたり、基本的に2年ごとに異動があるため、未経験の業務に携わる機会が多くあります。わからないことがあっても、自分で調べたり周囲に相談したりしながら、「とりあえずやってみよう!」と前向きに取り組むことができると、気づけば自分の力になっています。また、様々な調整を行う中で多くの人と関わるため、細やかな気配りができることも重要だと考えています。



◆仕事をする上で心がけていること

私は、「助け合いながら成長できる関係」を大事にしています。業務の中では、困難な場面に直面することもあります。一人で抱えこまずに協力をお願いし、反対に同僚が困っているときには積極的にサポートすることを心がけています。こうした相互協力によって業務の円滑化を図っています。また、取りまとめ役として、関係省庁や自治体に作業を依頼することが多いため、過度な負担をかけないように、スケジュール感を意識しながら業務に取り組んでいます。

男女共同参画局



5

男女共同参画局総務課
男女共同参画分析官
木田 衣里乃
Kida Erino

Career

平成 16年 採用、大臣官房政府広報室広報第2担当主査付参議院参事 第二特別調査室勤務
平成 27年 大臣官房総務課秘書専門職内閣府副大臣付
平成 29年 沖縄振興局参事官(調査金融担当)付
令和 4年 参事官補佐心得(金融担当)
令和 6年 現職

所属している部局全体の紹介
男女共同参画は、全ての人が個性と能力を十分に発揮し、生きがいを感じられる、多様性が尊重される社会を実現するものであるとともに、我が国の経済社会にイノベーションをもたらし、持続的な発展を確保する上でも不可欠な要素です。男女共同参画局では、毎年、男女共同参画・女性活躍加速のための重点方針を策定し、施策の方向性や具体的な取組・成果目標等を定めている男女共同参画基本計画(男女共同参画社会基本法に基づき5年ごとに策定)の推進を図っています。

あなた自身の仕事の具体的な内容
私が所属する調査担当では、男女共同参画白書を作成しています。政府統計などの各種データの他、調査担当で行う意識調査結果等に基づいた分析を行い、また、時々の特ピックを取り上げた特集編を作成するなど、男女共同参画の更なる推進に向けた考察をしています。

現職のやりがいや達成感を感じる瞬間
意識調査は企画段階から携わり調査票をゼロから作成するので、大変やりがいがあります。また、白書が閣議決定・公表され、冊子を手にした時はその重みに達成感を感じます。

◆内閣府の求める人材

様々な分野に興味・関心を持つことと、調整能力が求められると思います。内閣府では、幅広い分野の施策に携わることになります。私自身、部署を異動するたびに様々な分野の業務に携わってきました。前の部署とは異なる業務を担当することも多々あります。今の部署で白書作成業務や意識調査の企画・実施は初めて携わりました。また、施策を進める上で、各省庁との調整が必要です。加えて、多様な人材が集まっている組織の中で、協力して業務を遂行することも重要です。



◆仕事をする上で心がけていること

固定観念に囚われず広い視野で物事を捉え、状況に応じて臨機応変に対応することを心がけています。内閣府の所掌する分野は幅広く、これまで携わったことのない業務に従事することもあります。また、内閣府には、他省庁、地方公共団体、民間企業など様々なバックグラウンドを持つメンバーが集まっています。様々な分野の知識を学んだり、多様な人々と共に仕事することで得た経験は、今後の業務に繋がると思っています。

6

政策統括官(経済社会システム担当)付
参事官(企画担当)付
岡 舜也
Oka Shunya

Career

令和 6年 採用、現職

所属している部局全体の紹介
経済社会システム担当では、中長期的経済財政政策の企画・立案・総合調整を担っています。具体的には、経済財政諮問会議での審議を経ながら、持続可能な経済社会となるよう、多角的な視点から日本経済の構造的な問題の解決に取り組んでいます。

あなた自身の仕事の具体的な内容
私の所属する企画担当では、中期的な経済財政に関する目標の策定などを行っています。国会だけでなく世の中からも注目されるテーマであり、身の引き締まる思いです。私の具体的な業務は、経済・財政に関するデータ・情報の収集や資料作成の他、昨今の物価上昇を踏まえた取組として、全省庁に対し、予算・税制において長年据え置かれたままの基準額や閾値の点検・見直しを要請し、取りまとめる業務も行っています。

現職のやりがいや達成感を感じる瞬間
経済部局での業務には幅広い知識が求められます。もちろん、配属当初から十分な知識があったわけではありませんが、国内外の経済・財政に関するデータ等を収集し、様々な資料を作成する中で、自然と理解が深まっていきます。また、収集した情報を上司にいかに関わりやすく伝えるかを考える力も養われます。

◆採用一年目の思い出

現職に配属された当時は、6月の骨太の方針2024策定に向けて、組織全体が大きく動いている最中でした。配属された週には、与党の部会に随行として参加するなど、刺激的な日々がいきなり始まりましたが、そんな中、もっとも印象的だったのは、いつもメガネをかけている上司がコンタクトにしたときの言葉でした。デートでもあるのかなと思っていましたが、コンタクトにした理由を尋ねると、「今日、大臣への御説明があるから」「メガネよりもコンタクトの方が俊敏に動ける」とおっしゃっており、大臣という存在の重みと、現場で求められる緊張感を実感しました。



◆仕事をする上で心がけていること

仕事は班内の数人だけで行っているわけではなく、局内の他の方々、更には部局・省庁を超えて様々な人と関係しながら成立します。現在は様々なコミュニケーションの方法がありますが、案件の内容や緊要性等を考えて、よりよいツールを選択することを心がけています。特に内閣府は、他省庁や地方公共団体、民間から出向者が多くいるため、メールや電話だけではなく、直接会話をすることも大切だと感じます。

経済社会システム



経済財政分析



7

政策統括官(経済財政分析担当)付
参事官(海外担当)付
北島 大地
Kitajima Daichi

Career

令和 2年 採用、政策統括官(経済財政運営担当)付参事官(国際経済担当)付
令和 4年 政策統括官(経済社会システム担当)付参事官(総括担当)付
令和 6年 現職

所属している部局全体の紹介
政策統括官(経済財政分析担当)は、毎月「月例経済報告」の作成を通じて、政府全体の景気判断や経済認識の土台を形成しています。総括・企画・地域・海外の各担当が、それぞれの専門的視点から国内外の経済動向を客観的なデータに基づいて分析し、重要政策決定の議論に資する知見を提供しています。

あなた自身の仕事の具体的な内容
私は海外担当として、米国経済の分析を担当しています。具体的には、米国政府機関等が毎月公表する生産や貿易などの経済指標の分析に加え、通商政策の動向を日々モニタリングし、「月例経済報告」の海外パートの作成にあたります。また、海外経済を包括的に分析する「世界経済の潮流」(年二回公表)の作成においては、米国経済の構造や動向を読み解き、世界経済へどのような影響を及ぼすのかを分析・執筆しています。

現職のやりがいや達成感を感じる瞬間
分析の方向性を定めた上で、膨大なデータを多様な手法で分析し、チーム一丸となって資料を練り上げていく過程にこの仕事の醍醐味があります。完成した資料は総理や閣僚の出席する会議で使用されるなど、国レベルの意思決定に直結するダイナミズムを肌で感じる瞬間に、責任とやりがいを実感します。

◆内閣府の求める人材

「知的好奇心を持ち続けられる人」です。内閣府には幅広いフィールドがあり、私自身も国際業務、国内の経済財政政策、米国経済の分析と多岐にわたる業務を経験してきました。各分野の専門家や出向者と協働する機会も多いため、既存の知識に満足せず、新しい課題に興味を持ち、他者から学ぶことを厭わない好奇心が不可欠です。こうした姿勢で自ら知見を広げ、変化を楽しめる方こそ、内閣府で活躍できる人材だと考えます。



◆仕事をする上で心がけていること

「データに対して忠実であること」を心がけ、「データから言えることは何か」を常に考えるようにしています。経済財政分析担当では客観的な統計データに基づき、正確に分析し、論理的に説明することが求められます。また、単に数値を追うだけでなく、その背後にある国内外の経済動向を考察することで、説得力を高めることを意識しています。

8

経済社会総合研究所
国民経済計算部国民支出課
永橋 彩子
Nagahashi Ayane

Career

平成 31年 採用、経済社会総合研究所景気統計部
令和 3年 賞励局審査官付審査第二係
令和 5年 経済社会総合研究所国民経済計算部
地域・特定動定課
令和 6年 現職

所属している部局全体の紹介
経済社会総合研究所は、内閣府のシンクタンクと呼ばれる部局で、GDP(国内総生産)に代表される国民経済計算の作成や、景気動向指数をはじめとする景気統計の作成を行っています。また、経済社会活動に関わる理論的・実証的研究を行うとともに、政策研究を担う人材育成、研修等にも取り組んでいます。

あなた自身の仕事の具体的な内容
景気を分析する上で重要な指標である「四半期別GDP速報」を年8回、また生産・分配・支出・資本蓄積といったフロー面や、資産・負債といったストック面も含めた「国民経済計算年次推計」を年に1回公表しています。推計作業は主に公的部門の社会保障基金の数値の推計を担当しており、医療費・介護費や公的年金等の推計を行っています。

現職のやりがいや達成感を感じる瞬間
国の統計をあまり知らない人でも、GDPの数値を作っていると言うと伝わる事が多く、国レベルの大きな仕事に携われていることにやりがいを感じます。統計を公表した際は新聞やテレビなどでGDPの数値について報道されるため、報道を見ると今回も無事に公表までやりとげたと達成感を感じられます。

◆採用一年目の思い出

初めて自分の携った業務が新聞等で報道され世に出るという経験が、国の仕事の影響の大きさを実感でき、責任感をもって頑張らなければと学生から社会人として意識が変わる良い機会になりました。また地方から就職で上京してきて初めての一人暮らしで生活面の不安もたくさんありましたが、寮に同じ状況の同期が多かったので、休日に遊びに出かけたり夜ご飯と一緒に食べたり、同期と楽しい生活ができたので新生活もすぐに楽しめるようになったことは今でも良い思い出として印象に残っています。



◆仕事をする上で心がけていること

周りの職員とコミュニケーションを積極的に取り、働きやすい職場の雰囲気作りに率先して取り組んでいます。雰囲気が良いと周りも自分も働きやすいため、業務を円滑に進める上で役立っていると実感しています。また、突発的な案件や複雑な案件にも臨機応変に対応できるように、常に自分の業務以外にもアンテナを張ることも心がけています。周りの会話にもアンテナを張っておくことで次に発生する作業を予測して事前準備が出来るなど、自分を守ることもつながっていると思います。

経済社会総合研究所



沖縄政策



会計担当主査付(政策統括官(沖縄政策担当)付
参事官(総括担当)付)

甫喜山 文也
Hokiyama Fumiya

Career
令和 2年 採用、
大臣官房会計課予算第6係
令和 4年 大臣官房会計課給与第1係
令和 6年 現職

所属している部局全体の紹介

はいさ〜い！ 沖縄担当部局(政策統括官(沖縄政策担当)、沖縄振興局、沖縄総合事務局)では、沖縄の抱えている特殊事情に鑑み、国の責務として沖縄振興に取り組んでいます。政策統括官(沖縄政策担当)では、沖縄部局全体に係る企画立案・調整に加えて、各種施策(沖縄振興特別推進交付金(ソフト交付金)、駐留軍用地跡地先行取得事業費、沖縄北部連携促進特別振興事業、沖縄離島活性化推進事業など)を担当しています。

あなた自身の仕事の具体的な内容

予算執行業務や庶務業務などを担当しています。主となる予算執行業務では、各事業の交付決定(契約)から精算までの一連の手続きの審査や資料作成等を行い、適切な会計処理に努めています。

現職のやりがいや達成感を感じる瞬間

年度末には次年度の交付決定(契約)と当年度の精算を同時にこなしていく必要があり、短期間かつ膨大な作業量となりますが、どの事業も直接的に沖縄の振興に繋がっているため、その事業成果を見て「ちむどんどん」しています。

◆採用一年目の思い出

令和2年7月豪雨による被災者を支援するための「予備費」の会計手続きの一部を経験しました。コロナ対策で積極的なテレワーク勤務が行われていたため、コミュニケーションが取りづらく難しい環境でしたが、スムーズに予算を使用できるよう必要な手続きを踏むことができました。無事に予備費が執行されている状況を見て、間接的にはありますが、国民の役に立ったという達成感がありとても印象に残っています。



◆仕事をする上で心がけていること

現在所属している沖縄部局は、プロパー職員ではない他省庁や地方自治体、民間企業からの出向者の割合が高く、様々なルーツを持つ者同士が沖縄振興という一つの目的に向かって取り組んでいます。各組織での文化・規定の違いから、意見の食い違いが発生することも多々ありますが、相手の考えをしっかりと理解しながら会話することを心がけています。

北方対策本部



◆仕事をする上で心がけていること

複数の業務を並行して進めることが多いため、重要度や期限を踏まえて優先順位を設定し、効率的に取り組むよう心がけています。これまで経験してきたすべての業務に共通して言うことですが、どのような業務でも実施に向けては、多くの関係者と協力しながら様々な調整を行う必要があります。そのため、各作業の適切なタイミングを意識しつつ、今後発生する依頼も見据えて行動できるよう努めています。

◆内閣府の求める人材

内閣府の業務は非常に幅広く、異動ごとに新しい分野を一から学ぶ機会があります。そのため、未経験の業務や政策にも興味を持ち、意欲的に取り組める方が向いていると考えます。また、内閣府では他省庁や地方自治体、民間企業等、様々なバックグラウンドを持つ人と協働する場面が多くあります。円滑に業務を進めるためには、柔軟な対応力やコミュニケーション力が求められます。



迎賓館



迎賓館総務課会計係長

星 まなみ
Hoshi Manami

Career
平成 19年 採用、賞勲局総務課賞件係
平成 30年 大臣官房会計課出納第2係
令和 2年 大臣官房会計課決算第1係長
令和 5年 大臣官房総務課秘書専門職 内閣府特命担当大臣付
令和 7年 現職

所属している部局全体の紹介

迎賓館赤坂離宮は明治42年に東宮御所として建設された日本で唯一のネオ・バロック様式の宮殿建築物です。大規模な改修を終えた後、昭和49年に国の迎賓施設として開館し、平成21年には明治以降の建築物として初めて国宝に指定されました。迎賓館は、これまで多くの賓客をお迎えしたほか、国際会議の場としても使用されており、外交活動の華やかな舞台となっています。平成28年4月からは通年の一般公開を開始し、多くの参観者の方にお越しいただいています。

あなた自身の仕事の具体的な内容

迎賓館の会計担当として、予算要求や執行管理など会計事務全般を行っています。迎賓館では、接遇をはじめ、一般参観、天井絵画修復工事、皇室由来のエラールピアノによるコンサートなど様々な業務が行われており、必要な会計処理も様々です。また、美術品や接遇で使用する家具類の管理も行っています。

現職のやりがいや達成感を感じる瞬間

迎賓館は重要な外交の場であり、その成果がメディアに大きく取り上げられることもあります。その裏側には多くの方が各々の分野において尽力されている姿があり、見えないところも含めて、一つのチームとして連携しています。その中で少しでも役立てているのだと思うとやりがいを感じます。

◆内閣府の求める人材

内閣府では、変化に前向きに対応できる柔軟性のある方が求められていると思います。業務内容が多岐にわたるため、予期せぬ状況や問題が発生することがあるかもしれませんが、このような場面においても、適切に対応する必要があります。そのためには普段から周囲の方々と積極的にコミュニケーションを取り、自分が準備しておくべきことを把握しておくことが重要です。また、どんな時でも調整を重ねながら、諦めずに業務を前に進めていく粘り強さも大切だと思います。



◆仕事をする上で心がけていること

業務では、周囲の方々に教えていただいたことを、自分なりにしっかり咀嚼し、きちんと理解することを心がけています。異動により大きく業務内容が変わることがあるため、勉強することも多く、大変だと思ったりしますが、経験の幅が広がると、思わぬ掛け合わせが生まれて問題解決に役立つこともあり、年次を重ねても新しい発見があります。これまでの経験を生かしながら、係の目標達成や課題解決に効果的に貢献できるよう努めています。

賞勲局審査官付審査第三係長

大竹 祐一
Otake Yuichi

Career
平成 18年 採用、賞勲局審査官付審査第三係
令和 元年 独立行政法人国立公文書館
令和 3年 大臣官房厚生管理官付総務・宿舍係長
令和 5年 大臣官房総務課総務係長
令和 7年 現職

所属している部局全体の紹介

賞勲局では栄典制度の調査、研究、企画業務のほか、春秋叙勲・褒章、文化勲章等の審査業務、栄典(勲章及び褒章)の授与に関連する業務を行っています。栄典の授与とは、日本国憲法第7条に規定される天皇陛下の国事行為の一つであり、国家又は公共に対し功労のある者、社会の各分野における優れた功労・功績のある者などに対し表彰をすることをいいます。

あなた自身の仕事の具体的な内容

所属する審査第三係では、文部科学省から推薦のあった者に係る審査業務を行っており、教育・文化・芸術・スポーツ等、それぞれの分野で功績のある者を対象としています。また、文化勲章にかかる審査業務も所掌しており、文部科学省と連携しながら業務に従事しています。

現職のやりがいや達成感を感じる瞬間

春秋叙勲、褒章に係る作業時においては、短期間で相当量の審査を行う必要があります。文部科学省の担当者と折り合いがつかない、上司へ案件説明してもなかなか了解がもらえないなど、様々な壁が波のように押し寄せてきますが、それらを越えて全ての案件をやり終えた際には大きな達成感を感じます。

◆内閣府の求める人材

内閣府は非常に多岐にわたる業務を扱っており、異動先によってはそれまで全く経験していない業務に携わることもあります。また、多様な人事交流により色々な経歴を持つ人と一緒に仕事をする事も少なくありません。どんな状況においても積極的に周りの職員と連携をとりながら柔軟に業務に取り組める、そんな方を求めています。



◆仕事をする上で心がけていること

議論の際は常に論点を中心に置いて話をすること、を心がけています。と言っても難しい事を考えている訳ではなく、むしろ問題点を出来る限り簡単に、そこさえ分かれば解決できる、というところまで自分の中で噛み砕く事を意識しています。会議の場だろうと軽い打ち合わせ程度の場合だろうと、議論が進むにつれて論点が分からなくなってしまったり見当違いの結論を出してしまうことはよくあることで、実際に自分もよく見失っていました。後から冷静になってみると、議論しなければならない内容はこれではなかった、とならないよう常に気を付けるようにしています。

賞勲局

